

▶ ホーム

**学会案内**

▶ 概要

▶ 定款等

▶ 組織・役員

▶ 事務局・連絡先

**市民の皆様へ**

▶ 医療における放射線被曝

▶ 放射線科の紹介

▶ 放射線・原子力関連情報

▶ 放射線医学の歴史

▶ レントゲンの日

**医学生・若手医師へ**

▶ 若手医師・学生の皆様へ

**第38回日本医学放射線学会秋季臨床大会案内(2)**

2006-6-2 9:39:15

会長 小西 淳二

第38回秋季臨床大会会長 渡会 二郎

第38回日本医学放射線学会秋季臨床大会を第62巻1号でお知らせしましたとおり、下記の要領で開催致します。多数ご参加下さいますようご案内申し上げます。

**記**

期 日：平成14年10月23日(水曜日)、24日(木曜日)、25日(金曜日)

会 場：

秋田ビューホテル

〒010-0001 秋田市中通2-6-1

TEL:018-832-1111 FAX:018-833-6957

秋田キャッスルホテル

〒010-0001 秋田市中通1-3-5

TEL:018-834-1141 FAX:018-831-0518

**I. 秋季臨床大会****1. シンポジウム(7題)**

- 1) 非浸潤性乳管癌診療をめぐる新知見と今後の展望
- 2) 放射線科診療に伴う被曝
- 3) 画像で変わる消化器治療方針
- 4) 心臓画像診断：現状と展望
- 5) 肝癌：切るか、焼くか、つめるか
- 6) 合同シンポジウム(電子情報研究会)：遠隔画像診断
- 7) IVR合併症対策

**2. リフレッシュャー・コース(5題)**

- 1) 「肩と膝の臨床解剖」整形外科医vs放射線科医
- 2) T1、T2、T2\*とは何か？ 基礎の基礎
- 3) 脳動脈瘤：疫学、画像、治療
- 4) 日常診療に役立つ小児放射線
- 5) 頭頸部のoncologic imaging：治療医が望む診療情報

**3. 教育講演(8題)**

- 1) 腎・副腎のMRI
- 2) 放射線医も知っておくべきtumor marker
- 3) 医療現場の未来予測
- 4) 悪性リンパ腫診療の新展開
- 5) 表在食道癌の治療展開
- 6) 子宮筋腫の塞栓術
- 7) センチネルリンパ節概念
- 8) CT・MRI時代の胸部単純X線写真

4. 特別講演：「乳癌診療の最先端」癌研究会附属病院 乳腺外科 霞 富士雄先生

**5. 招請講演****▶ 入会案内****▶ 会員のみなさまへ**

▶ What's New

▶ 会員向けの情報

▶ 学会からの情報・ガイドライン

▶ 安全に関する情報

▶ 会報・会告

▶ 学会誌・出版物

▶ 学術大会(春・秋)

▶ 地方会案内

▶ 国際交流

▶ 関連学会集会

▶ 利益相反

▶ 専門医制度

▶ 医学物理士制度

▶ リンク集

▶ 電子放射線診療用語集

**会員専用ページへ**

閲覧には会員番号と  
パスワードが  
必要です



日本語

Search

6. フィルムリーディングセッション
7. フィルム教育展示:治療方針決定に役立った腫瘍画像診断
8. ランチョンセミナー(6題)
9. サテライトミーティング(2題)
10. 一般演題募集:症例報告を中心に全領域にわたり、発表形式は展示のみにて募集します。  
演題募集要綱:本誌綴じ込み抄録用紙(A)、および演題申込受領証(B)に所定事項をご記入の上、抄録用紙(A)のコピーを2部添付し、下記までお送り下さい。

演 題 締 切:平成14年6月24日(月曜日)消印有効

送 付 先:

〒010-8543 秋田市本道1-1-1

秋田大学医学部放射線医学教室内 秋季臨床大会事務局

TEL:018-34-1111 FAX:018-836-2623

E-mail:[aki2002@doc.med.akita-u.ac.jp](mailto:aki2002@doc.med.akita-u.ac.jp)

## II. 併催研究会

救急放射線研究会、頭頸部放射線研究会、電子情報研究会、胸部放射線研究会が併催されます。本号の綴じ込み抄録用紙(A)および演題申込受領書(B)をご利用の上、各研究会宛にお申込み下さい。また各研究会の演題募集の詳細については、本号の各会告をご参照下さい。

## 第38回 日本医学放射線学会秋季臨床大会教育展示症例の募集

第38回秋季臨床大会会長 渡会 二郎

下記の要領で教育展示症例を募集しますので、奮ってご応募下さい。

### I. テーマ 「治療方針決定に役立った腫瘍画像診断」

診療各科の先生方にとって、画像診断が治療方針決定に重要な役割を果たすことはよく認識されております。特に生命予後や形態・機能の温存から見たQOL上からも今後ますます画像診断の果たす役割は増していくものと思われ

ます。  
特に日本人の死亡原因の一位である悪性腫瘍の画像診断を臨床現場で有効に施行することは病期、予後およびQOLを考慮に入れた治療方針決定からみても重要と考えます。

今回は特に臓器や診療科を特定しないで、単独ないしは他の診断法と組み合わせでも結構ですので治療方針を決める上で大きな役割を果たした画像診断の症例をお送り下さい。画像診断の方法はオーソドックスなものから、他科の先生方がちょっと思い浮かびにくい診断法まで含め何れでも結構ですので、奮ってご応募下さい。

### II. お送りいただく資料

#### 1)画像

各種画像X線フィルム(原版またはコピーフィルム)、再構成画像、ハードコピー(カラーまたは白黒)

#### 2)解説文

治療法決定のポイントを簡潔かつ具体的に600字以内でお書き下さい。

既に学会発表されたか論文にされた症例は、解説文に引用して下さい。

### III. 送り先および問い合わせ先

〒010-8543 秋田市本道1-1-1

秋田大学医学部放射線医学教室内 秋季臨床大会事務局

TEL:018-834-1111(内線 6179、2465) FAX:018-836-2623

E-mail:[aki2002@doc.med.akita-u.ac.jp](mailto:aki2002@doc.med.akita-u.ac.jp)

締切 平成14年7月15日(月曜日)

採否は大会長にご一任下さい。

---

[このページのトップへ戻る](#) ↑